

目 次

提言の要旨	1
はじめに	2
第1 現状の把握	2
1) 各地元の現状・問題点及び課題	
2) アンケートによる現状把握	
第2 問題点・課題点の整理	6
第3 施策の提言	7
提言1 地域の活力を防災につなげること（自主防災組織）	
提言2 住民の防災知識の強化（防災教育）	
提言3 災害警報の内容に関する改善	
提言4 防災情報伝達手段の改善	
提言5 システムを風化させない仕組みづくり	
おわりに	12
資料1	13
資料2	14

提言の要旨

災害時避難100%を目指して ～実効性をあげるシステムづくり～

現状の把握

- ・避難勧告が出ても避難しない方が多い→なぜ避難できないのか？
- ・避難に対する十分な周知や仕組的な制度的障害は？
- ・心理的や物理的な障害は？

1) 各地元の現状・問題点及び課題

◇各地元における、現実的な現状・問題点の検証し課題点を洗い出す。

2) アンケートによる現状把握

実施するため、本年9月の台風12号及び15号の際の避難状況について分析をする。

☆避難勧告・避難指示の実効性をあげるための方策と
その後の風化させないためのシステムづくりは
いかにあるべきか!

【問題点・課題の整理】

避難勧告・指示発令時の避難率を高めるためには自主防災組織の機能を発揮させることが必要

正常化の偏見などの意識面での障害を越えるための防災教育の推進

避難勧告の情報伝達の有効な手段の工夫が必要

提言1

地域の活力を防災につなげること（自主防災組織）

提言2

住民の防災知識の強化（防災教育）

提言3

災害警報の内容に関する改善

提言4

防災情報伝達手段の改善

提言5

システムを風化させない仕組みづくり